

旭町庁舎(旧枚岡市庁舎)の保存と利活用に関する公開質問状について(回答)

浜 正幸

■質問1 「東大阪市旭町庁舎」の価値をどのように評価され、今後の保存利活用について、どのようにお考えでしょうか。

(回答)

旭町庁舎(旧枚岡市庁舎)は、ご指摘のとおり「関西のモダニズム建築20選」のひとつに選定されるなど、全国に誇る貴重で優れた建築物であると認識しています。2005年に策定された「東大阪市景観形成基本計画」でも、「旭町庁舎は、ル・コルビュジェの影響を色濃く受けた建物で、振り返った庇がとても印象的です。このような価値ある建物を保存し、地域の拠点などとして上手に使ってゆくことが大切です」とされているように、今後のまちづくりの拠点として、保存・活用されるべきであると考えます。

現在の旭町庁舎は、図書館、福祉事務所、保健センター、行政サービスコーナーとして利用されるなど地域住民にとってかけがえのない施設となっていますが、例えば、物置となっている3階の旧枚岡市議会議場は小ホールとして会議や展示など、空間を活かした利用を行い、屋上庭園は再整備をして市民憩いの空間として利用するなど、いっそうの有効活用も可能であると考えます。廃止・解体をするのではなく、行政と住民が、建築などの専門家・学識経験者の方々と一体となって、地域の活性化にも寄与する新たなまちづくりの拠点としての旭町庁舎の保存・活用の道を模索するべきであると考えます。

■質問2

世界の諸都市では、歴史的文化的に価値がある建築を積極的に活用していかうとする「リビング・ヘリテージ」(生きている遺産)という考え方が志向され、各地で実践されています。我が国においても、歴史的文化的に価値ある建築やまち並みを地域活性化の拠点や資源と位置付けて、その利活用方法などを地域の市民と専門家と共に考え検討を進める動きが多く見られ、成果を上げています。東大阪市の街づくりにおいて、このような手法に倣って積極的に取り組む政策はどのようにお考えでしょうか。

(回答)

ご指摘の、歴史的文化的な価値がある建築を、単に保存するのではなく、地域活性化の拠点づくりの資源などとして位置付けて積極的に活用する「リビング・ヘリテージ」という考え方は大変大切で有効な政策であると考えます。とりわけ、歴史的にも文化的にも極めて貴重な建築物である旭町庁舎の保存・活用については、もっとも求められる政策的手法であると考えます。

### ■質問3

より適切な耐震改修の計画実施により、「東大阪市旭町庁舎」の固有の文化的価値を損なうことなく、原稿の建替え事業計画よりもはるかに少ない費用で、必要な耐震性能の確保と長寿命化は達成可能です。この利活用設計に優れた建築構造学識経験者らに依る耐震改修提案をする用意があります。このような提案の対応についてどのようにお考えでしょうか。

(回答)

本市の多くの公共施設が、必要な耐震性の確保と長寿命化が求められています。しかし、同時に、その耐震化は、解体・建替えよりも費用が少なく、旭町庁舎のような建築物の場合、その歴史的文化的価値を損なうことなく行われることなどが求められます。その点で、貴団体のご提案は誠に心強くありがたいと思います。

### ■質問4

「東大阪市旭町庁舎」に関わる建て替え事業政策の振興に対して、現在の総合的価値や利便性を損なうことなく、今後の地域文化経済諸活動に資するような保存と利活用の諸提案を学識経験者らを含めて取り組む用意があります。このような提案の対応についてどのようにお考えでしょうか。

(回答)

最初のご質問にお答え致しましたように、優れた歴史的文化的価値を持ち、かつ住民サービスの提供や住民生活のセンターとしての役割を果たしている旭町庁舎を、地域の活性化にも寄与する新たなまちづくりの拠点として保存・活用していくには、行政と住民が、建築などの専門家・学識経験者の方々と一体となった取り組みを行うことが不可欠であると考えます。ご提案を心から歓迎いたします。

■質問5

「東大阪市旭町庁舎」建物と敷地に関わる今後のありように関して、その他お考えがございましたら、ご自由にお示しください。

(回答)

旭町庁舎に隣接する市立旭町子育て支援センター、市立東体育館、旧法務局も、造られた年代によって形状が異なるものの旭町庁舎と同じコンクリート打ち放し建築であり、この一角はユニークな「コンクリート打ち放し建築群」を形成しています。このような特徴を活かしたまちづくりなども検討してみてはどうでしょうか。

以上